

東日本大震災を忘れない

地域一体災害に備える

東日本大震災から3年を迎え、3月9日に美濃山地区、16日にくすのき地区で防災訓練が行われました。

同訓練は、東南海・南海地震を想定した地域一体の訓練で、各地区自治連合会の主催で行われています。

地区内に訓練開始の防災行政無線の放送が流れると、参加者たちは自治会ごとにそれぞれの避難場所である美濃山小学校、くすのき小学校に集まりました。

両地区の訓練では、パケツリレーや消火器による消火訓練、AEDによる救命措置体験などが行われ、参加者たちは熱心に訓練に取り組んでいました。

も用意され、参加者たちは震度6前後の揺れを体験。体の自由が利かない状態を実感していました。

また、くすのき地区では、地震発生時に身を守るための基本動作を一齐に行うシエイクアウト訓練を実施。

参加者たちは「地震が発生しました」のアナウンスを合図に、一齐にしゃがんで、かばんなどで頭を守り、地震発生時の初期対応を実践していました。

くすのき地区の訓練に参加した今村有喜菜さん(12)と亮くん(10)は「AEDの使い方を初めて知って、勉強になりました。災害に向けての準備が大事だと思いました」と、防災への意識を高めていました。



救命措置体験をする参加者



シエイクアウト訓練を行う参加者



地震体験をする参加者



毛布での担架の作り方を学ぶ参加者



消火訓練を行う参加者



八幡人権・交流センターまつり

人とのつながりを大切に

「広げよう！仲間のわ つくろう！人権のわ」をテーマに八幡人権・交流センターまつりが3月1日、八幡人権・交流センターで開催されました。

このイベントは、市民に人権を身近に感じてもらうと、市の主催で毎年行われています。会場には、模擬店や市内の保育園児・小中学生が描いた絵などを展示。また、ステージ発表では、人権学習総合講座受講生によるゴスペルライブなどが行われました。

新井深絵さんによるゴスペルコンサート

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

クッキー作りで卒園の思い出

3月6日、親子クッキングが南ヶ丘第二保育園で行われ、5歳児9人が保護者と一緒にクッキー作りをしました。

同園は、卒園する5歳児の思い出作りにと、毎年この時期に親子クッキングを行っています。

園児たちは、3班に分かれてクッキー作りを開始。ハンドミキサーでバターや卵を混ぜ始めると、中身が飛び散り、慌ててボウルを抑えたり、ミキサーを弱めたり、みんなで協力しながらの生地作り。そこに班ごとに抹茶やココアのパウダー、チョコチップを入れて混ぜ合わせると、おいしそうなおいが広がりました。

そして、出来上がった生地を園児たちは型などで星やハートなどの好きな形に整え、鉄板に並べてオーブンに入れました。

クッキーが焼き上がると、3時のおやつに親子と一緒に「いただきます」。園児たちは「チョコの味がいっぱいおいしい」と大満足。親子の会話も弾み、楽しい保育園の思い出になりました。



クッキーの生地を混ぜる園児たち